

## 環境科学部の総合型選抜（プレゼン入試）は、

### どんな内容のプレゼンが対象になるのでしょうか？

質問：私は、小学生のころから野鳥観察を趣味にしています。中学生の時には〇〇という鳥が〇〇の場合に〇〇なことを見つけました。これは地元の新聞でも紹介されました。高校生になってからはそれほど時間が取れなくなってきましたが、引き続き〇〇が〇〇ではないかという仮説段階ですが知見が得られました。これを発表できますか？

回答：高校生の時に得られた知見をプレゼンするのが命題ですが、その背景としてそれ以前のことをプラスして話すことも認められます。



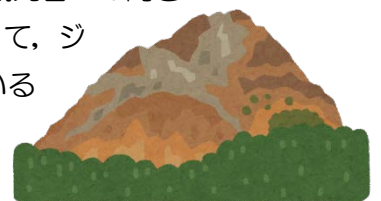
質問：私は、子供のころから環境問題にとっても興味があります。これまでに県内外や離島で海岸に漂着する多量のゴミを清掃する活動に10回以上参加してきました。この活動についてプレゼンしたいと思います。

回答：残念ながら活動だけでは対象になりません。その活動などの取り組みによって“得られた知見”をプレゼンできなければなりません。

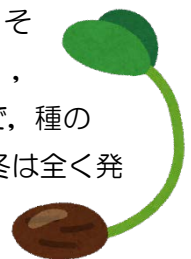


質問：私は、中学生のころから環境問題に関心を持つようになりました。高校生になり、ジオパークによる持続可能な地域づくりについて、〇〇ジオパークの研修会に参加してジオガイドの認定を受け活動してきました。およそ2年間ジオガイドとして活動する傍ら、観光客への聞き取り調査を続けてきました。そして、ジオパークを訪れる観光客にとって、ジオパークとは〇〇のようなイメージや〇〇の役割を持つと認識されていることがわかりました。これをプレゼンしようと思っています。

回答：このような個人の活動から得られた知見について、発表することができます。



質問：私は、カボチャの種を見て「種が大きいと発芽しやすいのか」という疑問を抱き、それを明らかにする実験を行いました。〇〇という植物の種を集めて「大」、「中」、「小」に分けて発芽率を調べましたが、いずれの種も発芽しませんでした。そこで、種の発芽について本で調べながら、様々な季節に実験を繰り返しました。その結果、冬は全く発芽しませんでした。夏はよく発芽したので、気温が発芽に重要であることがわかりました。そして、種の大きさと発芽率には関係がないこともわかりましたが、



発芽後の植物の大きさが種の大きさによって変わることもわかりました。このような内容でもプレゼンの対象でしょうか。

回答：あなたが調べて得られた知見が世界初である必要はありません。私たちは継続して粘り強く取り組んだ実績を評価します。

質問：私は、中学校の社会の授業で、日本はエネルギー資源に乏しく、大部分を輸入で賄っていることを知って危機感を覚えました。これをきっかけに、高校の探究活動では再生可能エネルギーについて調査しました。すると、太陽光発電や風力発電を普及させるためにはより多くの鉱物資源が必要で、かつそれらの大半は化石燃料と同様に輸入されていることがわかりました。そこで、私はかつての石油危機や最近のロシアのウクライナ侵攻による化石燃料高騰など、これまでの世界情勢がエネルギー資源に及ぼしてきた事例や今後エネルギー資源を確保していくための技術や政策についてまとめました。これを発表できますか？



回答：興味のあることをインターネットや新聞記事などを使って調べてまとめただけでは、対象となりません。そこから得られた知見があれば対象になります。

質問：私は、子どもの頃から自然で遊ぶのが大好きで、将来はその保全に関するコンサルティング業務をしたいと考えています。SDGs の授業の一環で、人々の環境に対する意識を変えることが重要ではないかと仮説を立てました。そこで私は、自分の通う高校の生徒や教職員さんと祖父母が入っている高齢者施設の人たちに、環境問題に対する意識を問うアンケート調査を行いました。すると回答者の年代ごとに異なる回答の特徴が見られ、時代背景や教育内容の違いが環境意識に影響していることが示唆されました。これはプレゼンの対象になりますか？



回答：仮説を自身の手で検証して得られた知見があれば、評価対象となります。

質問：私は、高校の周囲にどれくらいの外来植物が生息しているのかを調べました。調査は一緒の班の友達と分担して行いましたが、種の判定が得意な人とそうでない人がいました。そこで、判定基準を統一するために、様々な植物の写真を撮影してその特徴を書き、種の判定マニュアルを作成しました。それに基づいて月に一回、植物の分布を調査した結果、一年を通じて高校の南側に外来植物が多いことがわかりました。そして、その高校の南側と北側で日陰ができる時間を調べたところ、南側で短かったこと



から、日当たりの良さが外来植物の生息に影響している可能性を示すことができました。

回答：グループ活動ももちろん評価対象です。その活動でのあなたの貢献度や工夫などを評価します。

質問：私は、小さいころから城跡などの古い史跡めぐりが好きで、最近では、これらの地域資源をアピールして町を活性化させることに成功したニュースを見てとても興味を持ちました。高校では、グループワークで〇〇地域にこれらの史跡が多いことを活用し、それらをめぐる散策コースの提案など新しいアイデアを学校主催の発表会で発表しました。たまたま、その聴衆の中に市役所職員の方がいて、私たちのこの案を市の観光マップを作成する際の参考にさせて頂きたいと連絡を受けた事もありました。これはプレゼンの対象になるでしょうか。



回答：取り組んだ活動の結果「〇〇という知見を得た」ことをメインにプレゼンするように留意してください。

## Q&A

Q: グループ活動でもいいですか

A: グループ活動でも構いません。ただし、その場合は、グループ内でのあなたの役割や貢献度などを発表に含めてください。



Q: 中学までの活動でもいいですか

A: 中学までの活動内容を背景として話すことは可能ですが、必ず高校生の時に得られた知見を含めてください。

Q: 発表形式の違いによる有利・不利はありますか

A: パワーポイント投射, ポスター掲示, 資料配布のいずれでも構いません。形式による有利・不利はありません。人にわかりやすく伝えられるかどうか大切です。

Q: コンピュータープログラミングやアプリ開発についての発表も可能でしょうか

A: それが環境に関連したものであれば対象となります。しかし、工学的な工夫に終始するような内容では評価対象になりません。



Q: 弁論大会での経験を発表したいのですが

A: スポーツや音楽演奏などの実技系の活動や取り組みは対象としていませんが、弁論大会の場合、話の内容が環境に関連していれば対象となる場合もあるかと思えます。



Q: 発表や受賞の必要はありますか

A: どこかで発表したことが必要ではありません。そこでの受賞の必要もありません。ただし、受賞などの事実は活動で得られた知見の重要性の根拠になると思います。

Q: 得られた知見が素晴らしければ、発表技術が劣っていても良いのでしょうか

A: 人にわかりやすく伝えられるかは評価の対象です。

Q: 発表内容に大学入学後の抱負などを含めても良いのでしょうか

A: 話の流れから必要があれば、ほんの少しなら話すのはかまいません。

Q: 短期間の活動で得られた知見でも構いませんか

A: 地道に継続して取り組むことができる能力も評価の基準です。例えば、1週間で得られた知見では、地道に継続して取り組んだとはいえないでしょう。



Q: 環境に関連した内容だけが対象でしょうか

A: はい。そうです。ただし、私たちは、現代社会では多くのことが「環境に関連」したものではないかと考えています。判断に迷われるようであれば環境科学部に問い合わせてください。



Q: 発表時間はきっちり守らなければなりませんか

A: そうあって欲しいのですが、当日、緊張して少し時間が延びることは仕方ないでしょう。ただし、大幅な超過は低く評価されます。





長崎大学はプラネタリーヘルスを推進しています。環境科学部の  
総合型選抜はこれに強く結びつくものと考えています。